



歌川国貞が描いた浮世絵が練馬区のPRに一役買う

～「ねり魅 de デザイン」活用を推進します～

区内のパン屋ヴィエイユ(旭丘1-56-2)併設のギャラリーに、区所蔵の歌川国貞の浮世絵を活用したチラシが登場した。

これは、区の所蔵資料データを無償で活用できる「ねり魅 de デザイン(文化芸術資産活用事業)」の一環。区立美術館と石神井公園ふるさと文化館で所蔵している著作権の切れた絵画や浮世絵、出土品・日常生活用具等の画像データを企業や商店主、デザイナーなどの方に無償で貸し出し、利用してもらうというもの。

今回、「展覧会周知用チラシ」に同事業を利用した店主の大山哲司さんは、「無償で浮世絵が商業利用できることは、資金に余裕がない経営者には大変良い制度である。今後も積極的に利用し、区の魅力を発信していきたい」と話してくれた。



▲作成されたチラシ

【ねり魅 de デザイン(文化芸術資産活用事業)について】

区立美術館や区立石神井公園ふるさと文化館が所蔵する絵画・浮世絵や、出土品・江戸時代の村絵図、昔の日常生活用具などの画像データを、学術利用のほか、無償で企業や商店、町会・自治会、デザイナーなどの方に利用していただき、区の財産を身近に親しんでもらうとともに区の魅力を発信する取り組み。平成28年7月から開始した。

企業や商店などによる商品デザインやパッケージ、カレンダーなど幅広い用途への活用を見込んでいる。

【所蔵する画像データ】

(1) 美術館

著作権をクリアした絵画・浮世絵作品 約80点

荒木十畝(あらかきじっぽ)、鬘光(あいみつ)などの近代絵画や版画、歌川広重(うたがわひろしげ)、豊原国周(とよはらくにちか)などの浮世絵

(2) 石神井公園ふるさと文化館

農具や出土品、江戸時代の文書類 約300点

江戸時代の下練馬村絵図、文書類、千川上水写真、昔の日常生活用具、農具、石器・縄文土器などの出土品



▲荒木十畝
「閑庭早春」



▲春好斎北洲
「富獄三十六景 隠田の水車」



▲炭火アイロン



▲丸山東遺跡方形周溝
墓出土のガラス玉